

大学院教育学研究科

所 属 ・ 職 位	大学院教育学研究科（教職大学院）・准教授	
氏 名	熊丸 真太郎 (Kumamaru Shintaro)	
取 得 学 位	修士（教育学），福岡教育大学，2001 年 3 月	
S D G s 目 標	 4 質の高い教育を みんなに	

研 究 分 野	教育経営学
研究キーワード	学校組織論，学校事務
研 究 内 容	学校経営について，組織マネジメントの観点から研究を行っています。学校組織のメンバーの行動に影響を与える組織文化に主な研究上の関心があります。最近では，学校組織が多様性を尊重する文化を有することが学校経営にどのような影響を与えるかに着目しています。それは，学校組織が多様性を尊重していることが，組織としての創造性の発揮や向上につながるのではないかと仮説を抱いているためです。 教育政策において「チーム学校」の実現が求められており，スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど，これまでとは異なった立場の専門職が学校に関わるようになり，学校組織の多様性も増しています。ただ，それらの専門職は，常に学校にいるわけではありません。一方，学校事務職員は，「総務や財務に通ずる専門職」と再定義され，より一層，学校経営の意思決定に関わることが求められている存在です。そこで，従来から学校組織のメンバーでありながら，教員ではない行政職員である学校事務職員に焦点を当て，その学校組織における役割や職務の実態を明らかにしようと試みています。そうした研究の成果から，学校事務職員を対象とした研修の依頼をいただくこととなりました。その機会を通して，学校事務の実態を少しずつとらえられるようになってきました。 また，地域と連携した探究活動に取り組むことが，生徒や教師にとってどのような効果をもたらすかについても関心があり，高校での探究活動のカリキュラム開発にも携わる機会をいただいています。生徒たちが授業において探究の過程を経て学ぶこと，そして教師がそれに伴走していくという，従来とは異なる学び方が行われている学校で，生徒だけでなく教師や教師集団がどのように影響を受け，学び，変革していきうのかも明らかにすることに取り組んでいます。
研 究 業 績 ・ アピールポイント	近年の研究業績は以下の通りです。 1. 学校事務職員はどのような職務意識を抱いているのか ―職務負担感に焦点を当てて―，学校教育実践研究，2019年 2. 教員養成段階での学校安全・危機管理に関する教育 ―国立大学教員養成課程のシラバス分析から―，学校教育実践研究，2018年 3. 地域連携型教育プログラムは地域創造精神や課題発見解決力の育成に有効か ―卒業生アンケートに見る成果と課題―，島根大学教育臨床総合研究，2018年 4. 学校事務職員の学校経営への参画を促す支援的行動，島根大学教育学部紀要．教育科学，人文・社会科学，自然科学＝Memoirs of the Faculty of Education，Shimane University，2016年 5. 学校経営における「多様性」の尊重に関する一考察，教育学研究紀要，2016年